

ご旅行条件〈要約〉

お申し込みの際には、必ず旅行条件書(全文)をお受け取りいただき、事前にご確認の上、お申し込み下さい。

■募集型企画旅行契約

この旅行は(株) JTB コーポレートセールス(東京都千代田区霞ヶ関3-2-5、観光庁長官登録旅行業第1767号。以下「当社」という)が企画・実施する旅行であり、この旅行に参加されるお客様は当社と募集型企画旅行契約(以下「旅行契約」という)を締結することになります。また、旅行条件は、下記によるほか、別途お渡しする旅行条件書(全文)、出発前にお渡しする最終日程表と称する確定書面及び当社旅行業約款募集型企画旅行契約の部によりります。

■旅行のお申し込み及び契約成立時期

- (1) 所定の申込書に所定の事項を記入し、下記のお申込金を添えてお申し込みください。お申込金は、旅行代金お支払いの際差し引かせていただきます。
- (2) 電話、郵便、ファクシミリその他の通信手段でお申し込みの場合、当社が予約の承諾の旨通知した翌日から起算して3日以内に申込書の提出と申込金の支払をしていただきます。
- (3) 旅行契約は、当社が契約の締結を承諾し、お申込金を受領したときに成立するものとします。
- (4) お申込金(おひとり)30,000円

■旅行代金のお支払い

旅行代金は旅行出発日の前日からさかのぼって21日目にあたる日より前(お申し込みが間際の場合は当社が指定する期日までに)にお支払いください。また、お客様が当社提携カード会社のカード会員である場合、お客様の署名なくして旅行代金、取消料、追加諸費用などをお支払いいただくことがあります。この場合のカード利用日は、お客様からお申し出がない限り、お客様の承諾日といたします。

■取消料

旅行契約成立後、お客様の都合で契約を解除されるときは、次の金額を取消料として申し受けます。(お一人様)

契約解除の日	取 消 料
旅行開始日の前日から起算してさかのぼって30日目から3日前まで	お一人様旅行代金の20%
旅行開始日の前々日から旅行出発日まで	お一人様旅行代金の50%
無連絡不参加及び旅行開始後の解除	お一人様旅行代金の全額

■旅行代金に含まれるもの

旅行日程に明示した専用車代金・旅行日程に明示した宿泊の料金および税・サービス料金(2人部屋に2人ずつの宿泊を基準とします)
旅行日程に明示した食事の料金及び税・サービス料金・渡航手続関連費用
※これらの費用は、お客様の都合により一部利用されなくても原則払い戻しいたしません。

■旅行代金に含まれないもの

前項のほかは旅行代金に含まれません。その一部を例示いたします。
・一人部屋利用追加代金・クリーニング代、電話、インターネット接続料、ホテルでのチップ
・日程表に記載のない食事代・日本国内における交通費・海外空港諸税・国内空港施設使用料・旅客保安サービス料・燃料サーチャージ

■特別補償

当社は、当社又は当社が手配を代行させた者の故意又は過失の有無にかかわらず、募集型企画旅行約款別紙特別補償規程に基づき、お客様が募集型企画旅行参加中に急激かつ偶然な外来の事故により、その身体、生命又は手荷物上に被った一定の損害について、以下の金額の範囲において、補償金又は見舞金を支払います。
・死亡補償金:2500万円 ・入院見舞金:4~40万円 ・通院見舞金:2~10万円
・携行品損害補償金:お客様1名につき~15万円
(但し、補償対象品1個あたり10万円を限度とします。)

■「通信契約」を希望されるお客様との旅行条件

当社提携クレジットカード会社のカード会員(以下「会員」といいます。)より「会員の署名なくして旅行代金や取消料等の支払いを受ける」とこと(以下「通信契約」といいます。)を条件にお申し込みを受けた場合、通常の旅行条件とは以下の点で異なります。(受託旅行者により当該取扱ができない場合があります。また取扱できるカードの種類も受託旅行者により異なります。)

- (1) 契約成立は、当社が電話又は郵便で旅行契約の締結の承諾通知を発信したとき(e-mail等電子承諾通知を利用する場合は、その通知がお客様に到達したとき)とします。また申込時には「会員番号・カード有効期限」等を通知して頂きます。

(2) 「カード利用日」とは旅行代金等の支払い又は払戻し債務を履行すべき日をいいます。旅行代金のカード利用日は「契約成立日」とします。また取消料のカードの利用日は「契約解除依頼日」とします。(但し、契約解除依頼日が旅行代金のカード利用日以降であった場合は、当社は旅行代金から取消料を差し引いた額を解除依頼日の翌日から起算して7日間以内をカード利用日として払い戻します。)

(3) 与信等の理由により会員のお申し出のクレジットカードでのお支払いができない場合、当社は通信契約を解除し、規定の取消料と同額の違約料を申し受けます。ただし、当社が別途指定する期日までに現金による旅行代金のお支払いをいただいた場合はこの限りではありません。

■旅券・査証について

パスポート残存有効期間は、入国時6ヶ月+滞在日数以上が必要。30日以内の滞在は査証不要。

■保健衛生について

渡航先の衛生状況については、厚生労働省「検疫感染症情報」ホームページ: <http://www.forth.go.jp/> でご確認ください。

■海外危険情報について

渡航先(国又は地域)によっては、外務省「海外危険情報」等、国・地域の渡航に関する情報が出されている場合があります。お申し込みの際に販売店より「海外危険情報に関する書面」をお渡しいたします。また「外務省海外安全ページ」: <http://www.pubanzen.mofa.go.jp/> でもご確認ください。

■海外旅行保険への加入について

海外において、病気・けがをした場合、多額の治療費、移送費等がかかることがあります。また、事故の場合、加害者への損害賠償請求や賠償金の回収が大変困難であるのが実情です。これらの治療費、移送費、また、死亡・後遺障害等を担保するため、お客様自身で充分な額の海外旅行保険に加入することをお勧めします。海外旅行保険については、販売店の係員にお問合せください。

■空港諸税について

渡航先の国又は地域によっては、その国の法律などにより渡航者個人に対して空港税等(出入国税、空港施設使用料、税関審査料等)などの支払が義務付けられています。各コースに表示されている旅行代金には、空港税等は含まれておりませんので、別途お支払いが必要です。

■事故等のお申し出について

旅行中に、事故などが生じた場合は、直ちに同行の添乗員・ガイド、または、最終日程表でお知らせする連絡先にご通知ください。(もし、通知できない事情がある場合は、その事情がなくなり次第ご通知ください。)

■個人情報の取扱について

(1) 当社及び販売店は、旅行申込の際に提出された申込書等に記載された個人情報について、お客様との間の連絡のために利用させていただき、お客様がお申込みいただいた旅行において運送・宿泊機関等の提供するサービスの手配及びそれらのサービスの受領のために手続に必要な範囲内で利用させていただきます。

(2) 当社は、旅行先でのお客様のお買物等の便宜のため、当社の保有するお客様の個人情報をお土産店に提供することがあります。この場合、お客様の氏名、パスポート番号及び搭乗される航空便名等に係る個人データを、あらかじめ電子的方法等で送付することによって提供いたします。なお、これらの個人データの提供の停止を希望される場合は、お申込店に出発前までにお申し出下さい。

その他、個人情報の取扱いについては、ご旅行条件書(全文)の「個人情報の取扱い」をご参照ください。なお、当社の個人情報に関するお問い合わせ窓口は次の部署になります。

CSR推進室 〒100-6051 東京都千代田区霞が関3-2-5霞が関ビルディング12階
Tel:03-5539-2803(受付時間 平日9:30~17:30)
e-mail: bwt_privacy@bwt.jtb.jp 個人情報保護管理責任者: CSR推進室長

■旅行条件・旅行代金の基準

この旅行条件は2015年11月1日を基準としています。又、旅行代金は2015年11月1日現在の有効な運賃・規則を基準として算出しています。

パンフレット作成日2015年11月1日

旅行企画・実施

株式会社JTBコーポレートセールス

観光庁長官登録旅行業第1767号
日本旅行業協会正会員
〒100-6051 東京都千代田区霞ヶ関3-2-5



総合旅行業務取扱管理者とは、お客様の旅行を取扱う営業所での取引の責任者です。この旅行の契約に関し、担当者からの説明にご不明な点がございましたら、ご遠慮なく右記の総合旅行業務取扱管理者にご質問ください。

お問い合わせ／お申し込み先

株式会社JTBコーポレートセールス 新宿第五事業部 グローバルビジネス推進課

〒163-0426 東京都新宿区西新宿2-1-1 新宿三井ビル26階
総合旅行業務取扱管理者: 吉武耕

TEL:03-5909-8091 FAX:03-5909-8101

担当: 中井・市川(営業時間9:30~17:30 土・日・祝日休業)

第2弾
フィリピン介護最新事情視察

成田・関西・中部空港発コース

—政府機関対談、大学・日本語育成センター・介護士養成学校視察、ネットワーキング—

2016年2月15日(月)~2月19日(金) 4泊5日



LAPITA

旅行企画実施: 株式会社 JTB コーポレートセールス
企画協力: PHIBICフィリピンビジネス情報センター
後援: フィリピン観光省

フィリピン介護最新事情視察ミッション

団塊世代が後期高齢化になる 2025年 37.7万人の介護人材が不足! (厚生労働省推計)

少子高齢化社会を迎える現在、慢性的な人員不足を抱える日本の介護の現場にとって海外からの介護サポートの受入れは避けて通れない課題です。高度な専門知識や技術を持つ外国人の定住を促す出入国管理・難民認定法改正案が参院本会議で可決・成立され、様々な人材の受入れが可能になりました。今回のフィリピン介護最新事情視察ミッションは、フィリピンにおける高齢者介護のための人材育成の現状について最新事情を知り、人材の受入れを含めた今後の看護・介護への取組みに活かして頂くための視察ツアーです。

外国人技能実習制度見直しへ。介護人材の資質向上が求められています。

(日本再興戦略改訂2014抜粋より)

日本では現在、経済連携協定(EPA)に基づく介護福祉士候補の受入れや介護福祉士資格を取得した留学生の就労などについての外国人技能実習制度の見直しが行われています。技能実習制度では管理監督体制の強化や優良な受入れ団体・企業を介した拡充策など新制度移行を前提とした対応が協議されています。フィリピンでも将来を見据え、ハイスクールから介護に関する授業を導入するなど日比双方で経済活動の連携の強化をポイントにした計画が進行しています。今回のツアーでは、介護教育と日本人向け最新介護施設などフィリピンの最先端介護事情を視察します。

主な視察先・対話先概要

マニラ:フィリピンの首都、マニラの正式名称は、【メトロマニラ】。マニラ市をはじめとする17の行政地域の集合体がメトロマニラです。大都市マニラは現在と過去が交錯する不思議な街で政治、経済、文化、及び交通など全ての中枢を担っている。

タイタナ大学

マニラ首都圏で屈指の看護学部を持つ、先進的教育設備を自負する大学。大阪の大手日本語学校からの教員派遣を受け、介護人材への日本語教育が2015年7月からスタート。日本語教育の可能性と限界を学生との交流で把握することができる。

Asia Pacific 介護士養成学校

レベルの高い介護士養成で知られている専門学校。午後訪問するArkと連携して、日本向けの人材育成を真剣に取り組む方針。柔軟な考え方ができる学校経営者と情報交換しながら実際の訓練風景を見学できる。また、日本での実習を強く希望する生徒との交流。

Ark Foundation

農業、造船、建設、自動車関連産業などの実習生候補者の技能訓練、日本語教育の経験が10年以上ある、POEA認可の送り出し機関。来年から介護の人材の送り出しの準備中。日本人経営者から課題や問題点、可能性について本音でレクチャーをしていただく。

スービック:ルソン島サンパレス州にあり、1991年旧米軍基地返還後、1993年経済特別区に指定、スービック港自由貿易経済特別区となりました。
アンヘルズ:ルソン島のパンパンガ州にあり、スービック同様経済特別区に指定、大学が集まる学生都市。

トロピカル・パラダイス・ビレッジ

スービック湾自由貿易経済特区の日本人退職者向け長期滞在型住宅。日本語での介護サービスを提供している。また、同施設にて日本を目指すフィリピン人介護士の事前教育も行っている。過去のEPA送り出し実績80名以上、同施設出身介護福祉士合格者16名。

ゴードン大学ハイスクール・ヘルスサービスコース(仮称)

2015年から始まった、ハイスクール6年制(昨年まで4年制)の5年生からの技能実習カリキュラムの看護・介護助手人材育成コースを請け負っている、公立大学での教育実践(ゴードン大学職業技術訓練)を見学。公立なので教育設備が十分でない中でも、工夫を重ねた実技指導を行ってきた。

アンヘルズ大学看護学部付属介護士養成学校

マニラから2時間ほど北部に移動した地方の公益法人が運営する大学だが、医学部と看護学部がマニラの名門校と匹敵するレベル。その教員が介護士の養成に携わり、看護学部が使う実習教室で介護の技能を高めている。EPAで多くの看護師や介護士候補者を輩出。

マリキーナ市の介護施設 Le Verna Marikina

静かな高原にある元修道院の建物を改築した、中所得者向け介護施設。同じ運営組織が、ケソン市に高所得者向けのグループホームを運営。様々な介護士養成学校の実習先となっていて、日本向けの人材の実技指導を模索中。日本への出発前教育の場としても生かせる。

LAPITAとは JTBグループが国内外独自のパートナーシップの構築により、日本企業の海外進出、海外からの受入れをサポートする事業。



26年海外駐在を経験。96年の在ベルー日本大使公邸人質事件では最後の一人の人質となり、「危機管理」のアドバイスは必見。
LAPITA危機管理アドバイザー
元味の素フィリピン・ブラジル 社長
酒井 芳彦

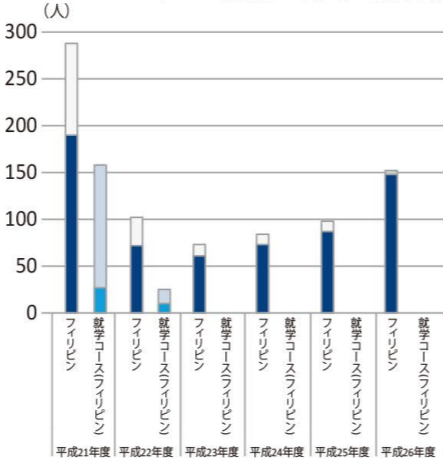


日本証券アナリスト協会検定会員など公認資格保有専門家がフィリピンでの情報収集、投資、運用、M&Aなど適切なアドバイス、強力なバックアップを行います。
LAPITAフィリピンアドバイザー
WCLソリューションズフィリピン
伊佐治 稔



地方紙で新聞記者として3年4ヶ月経験。1985月8月、フィリピン国立大学に修士留学、社会事業学専攻。報道関係の取材リサーチ、企業や政府機関の通訳、視察ツアーのコーディネートが主な仕事。伴侶は大統領府に勤務。
LAPITAフィリピンコーディネーター
穴田 久美子

経済連携協定に基づく介護福祉士候補者の受入れ人数等の推移 (フィリピン関連部分のみ抜粋 厚生労働省資料)



薄い色=受入れ希望人数 濃い色=受入れ人数



第2弾フィリピン介護最新事情視察 スケジュール

2016年2月15日(月)～2月19日(金) <<4泊5日>>						
日次	月日(曜)	地名	現地時間	交通機関	予定	食事
1	2016年 2月15日(月)	【出発】 成田空港発 中部空港発 関西空港発	9:30 9:35 9:55	JL741 PR437 PR407	空路、マニラへ 空路、マニラへ 空路、マニラへ	昼食:機内
		【到着】 マニラ着(成田) マニラ着(中部) マニラ着(関西)	13:35 13:00 13:20		マニラ到着 マニラ到着 マニラ到着	
2	2月16日(火)	マニラ	14:00	専用車	午後:①視察タイタナ大学 日本で介護の仕事を希望する人材と、日本語交流しつつ、人材としての可能性を探る。 ホテルへ <マニラ泊/ニューワールドホテルマカティ>	夕食:×
		マニラ	9:00	専用車	午前:②視察Asia Pacific 介護士養成学校 学校で教える座学、実技などTESDA(フィリピン労働雇用省技術教育技能教育庁)が認定しているモジュールの情報把握。 ケソン市で最大の高級ショッピングセンターで昼食 午後:③視察Ark Foundation視察Asia Pacific 介護士養成学校 日本人経営者の本音トークと活発な質疑応答を期待。リスク対策を知る良い機会。 スービック経済特区へ移動(片道3時間) ホテルへ到着 <スービック泊/ザ・ライトハウスマリーナリゾートホテル>	朝食:○ 昼食:○ 夕食:×
3	2月17日(水)	スービック	9:00	専用車	午前:④トロピカル・パラダイス・ビレッジ視察 日本向け教育に携わる日本人看護師と、人材教育の情報交換 午後:⑤ゴードン大学ハイスクール5年生、6年生用のヘルスサービスコース(仮称) 「経済的に厳しい家庭の頑張る屋さんが多い学校」 スービック経済特区視察 ホテルへ到着 <スービック泊/ザ・ライトハウスマリーナリゾートホテル>	朝食:○ 昼食:○ 夕食:×
		スービック アンヘルズ	9:00	専用車	アンヘルズへ向け出発 午前:⑥アンヘルズ大学看護学部付属介護士養成学校視察 恵まれた教育環境。元米軍基地の国際空港があるため、仁川経由で日本へのアクセス便利。 昼食 午後:⑦マリキーナ市の介護施設ドミトリー式施設 運営組織の代表、Dr. Delizoが施設の運営と人材育成の経験をレクチャー。 ホテルへ到着 ネットワークングディナー (HTLのパンケット) 19:00～ <マニラ泊/ニューワールドホテルマカティ>	朝食:○ 昼食:○ 夕食:○
4	2月18日(木)	マリキーナ				朝食:○ 昼食:○ 夕食:○
		マニラ				朝食:○ 昼食:○ 夕食:○
5	2月19日(金)	マニラ	9:00	専用車	午前:⑧フィリピン教育省高等教育委員会 看護助手コースの具体的な内容、実技訓練のレベルなど、質問事項を準備する。 視察先から、ホテルまたは空港へ	朝食:○ 昼食:×
		【出発】 マニラ発(成田) マニラ発(中部) マニラ発(関西)	11:30 14:50 14:05 14:25	専用車 JL742 PR438 PR408	空港へ 帰国の途へ 帰国の途へ 帰国の途へ	機内:1回
		【到着】 成田空港発 中部空港発 関西空港発	20:00 18:55 19:10		到着後解散 到着後解散 到着後解散	

ご利用航空会社:日本航空JL、フィリピン航空PR
※視察先は変更及び順序入替になる場合がございます。
ご注意:発着時間、交通機関、スケジュール等は変更になる場合がございます。

時間帯の目安	早朝	朝	午前	午後	夕刻	夜	深夜
*右記の時刻表示は、航空機、バス等の移動の発着時刻を基にした目安です。	4:00	6:00	8:00	12:00	16:00	18:00	23:00 4:00

第2弾フィリピン介護最新事情視察 参加募集要項

- ご視察期間 2016年2月15日(月)～19日(金) ■申込締切/ 2016年1月14日(木)まで(*先着順。募集人員に達し次第、締切となります。)
- 訪問都市/フィリピン:マニラ・スービック・アンヘルズ ■添乗員/同行しません。(LAPITAコーディネーターがご案内します。)
- 募集人員/30名様(各空港10名様 最少催行人員6名様) ■食事条件/朝食:4回、昼食:3回、夕食:1回
- ご利用航空/成田:日本航空(JL)、中部・関西:フィリピン航空(PR) ■利用ホテル(ツイン2名1室利用)/マニラ:ニューワールドホテルマカティ
スービック:ザ・ライトハウスマリーナリゾートホテル ●一人部屋利用追加代金44,000円(4泊分)

■ご旅行代金 東京(成田)・中部(セントレア)・関西(関空)発着 4泊5日 大人お一人様 **228,000円**

※燃油サーチャージ(目安6,600円)+<成田発:旅客サービス施設使用料(2,090円)+成田旅客保安サービス料(520円)><中部発:中部旅客サービス施設使用料(2,570円)><関西発:関空旅客サービス施設使用料(2,730円)+関空旅客保安サービス料(310円)>+フィリピン旅客サービス施設使用料(目安1,420円)が別途必要になります。いずれも2015年10月1日現在の額です。